

-----7月6日-----

今週のアウトルック（7/6～7/10）

先週前半はボックス圏から上値トライとなる動きでしたが、後半は再びボックス圏へ戻る展開となっています。

米国雇用統計の発表後、少しリスク回避的な動きになっています。この動きが今週も継続するのかがポイントとなりそうです。

ドル円は先週前半の97円台をうかがう動きから、再び95円台で推移しています。95円台後半から96円台前半あたりが一番安定した状況なのかもしれません。

先週まではリスク回避、リスク選考の動きに左右される場面が多かったのですが、今週からは日本の独自要因、政治的な状況や北朝鮮に絡む地政学的リスクも為替に影響を受けるかもしれません。リスク選考、回避の関係も、東京市場ではリスク回避からドルが売られてドル円は円高、海外市場ではリスク回避からドルが買われてドル円は円安というような、同じ理由でも結果が異なってしまう状況も考えられます。リスク状況だけで判断せず、どの通貨が売られる（買われる）状況なのかを今まで以上に慎重に判断する必要があるように思います。

今週のレンジとしては、95円から97円あたりのボックス圏を想定しています。

ユーロ円は、ユーロドルが再び1.4を割り込んでいる状況からも、調整的な動きが中心になるかもしれません。ECB関係の要人からもドル高希望的な発言が少し増えているように感じます。各国通貨安への誘導が再び出てくるようだと、基盤の弱いユーロが再び下落する場面もあるかもしれませんが、基本的には大きく動く状況にはまだないと思います。132円から137円あたりのボックス圏を想定しています。

ポンド円は先週前半、160円トライに失敗したことから、154円あたりまでの下落の可能性もあるように思います。

155円以下で今週後半を迎えた場合には、ディーラーの夏季休暇にからむ手仕舞い売りなどから、一気に売られる状況も想定しておく必要があるように思います。

154円から158円あたりを想定しています。

今週あたりから9月の初旬にかけては例年、円高に動く傾向が強いように思います。クロス円はまだ円安傾向が続いていますが、そろそろ本格的な調整を想定しておくことも必要なように思います。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。